

事業所における自己評価結果

公表				公表日	
事業所名	さくら療育園 スオラ			2026 年 3 月 19 日	
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・集団支援や、狭い部屋での支援の際、事前に確認をしています。 ・支援内容に合わせて使用する部屋を工夫しています。 ・その際には事前に了承を得て支援内容を調整するなどの工夫を行っています。	・集団支援の人数が多い時などは部屋を分けるなど、工夫してまいります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・年齢や、ニーズに合わせて配慮しつつ、職員の配置を心がけている ・基準人員を守ってシフトを作っている	・お子様の様子や集団の人数に合わせて、適切な配置が出来るように努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・来所して自分が入る部屋が事前にわかるように部屋にマークと掲示を行っている ・物の場所を決め、構造化している	・建物上バリアフリーを整えることはこれ以上は難しい為、不要なものは撤去していくことを心掛けていく必要がある
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日清掃を行っている	・道路に面していることもあり、窓のサッシに汚れが見られる為、定期的に清掃していく必要がある
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・痙攣などでクールダウンが必要な際に別室を準備するなどの工夫をしている	・狭い部屋をご案内することもございますが、お子様の様子やニーズに合わせて支援を行えるように設定してまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・定期的にミーティングを設けている	・支援内容や業務内容を見直しつつ、職員が働きやすい環境を整えてまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・職員会議で共有と検討を行っている	・業務改善に努めた後も、より良い環境を整える為に、精進していく必要がある
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・面談の機会や会議があり、都度業務改善に繋げている ・会議を定期的に実施している	・都度職員の面談を実施し、その内容を踏まえて業務改善に努めてまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			・必要に応じて行っていく	・第三者による外部評価は現在行っておりません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・多く研修に参加している	・お子様一人ひとりに合った支援を提供する為に、受講する研修も検討する必要がある
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・お子様一人ひとりに合った支援を実施している	・内容の変更がある場合は、早急に修正していく必要がある
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・アセスメントに基づいた個別支援計画を作成している	・継続して一人ひとりに合った支援計画を作成していく必要がある
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・職員複数人で会議を実施している	・今後も職員が多く出席できる日で会議日を設定する必要がある
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・わからないことやこうした方が良いなどが伝えやすい雰囲気作りができている ・計画をもとに支援を行っている	・今後も計画に沿って支援を実施していき、その内容を職員間で共有していく必要がある
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・日々アセスメントを実施しながら支援を行っている	・お子様一人ひとりに対し、丁寧なアセスメントを継続して実施していく必要がある
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・具体的な支援内容を項目ごとに設定している	・日々ガイドラインを確認し、業務を遂行していく必要がある
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・チームで相談しながら実施している	・今後も意見を言い合える環境を整え、チーム支援を行えるように努める必要がある
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・記録を参考にしながら固定化しないよう工夫している	・一人ひとりのお子様に合わせた支援内容をこれからも模索し、実施していく
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		・ニーズに合わせてどちらも実施している	・保護者様やお子様のニーズに合わせて、支援を組み立てていく必要がある

関係機関 や保 護者 との 連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・チームでコミュニケーションを密に取っている	・継続して朝礼で当日の役割分担やタスク等を確認し、チームで連携する体制を整えていく必要がある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・終礼で共有事項を検討している	・必ず難しい現状がありますが、朝終礼以外でも共有出来る場を設けてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・ケース記録を必ず取っている	・今後も丁寧にケース記録を取り、日々ブラッシュアップした支援を提供していけるように努めていく必要がある
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・定期的にモニタリングを行い個別支援計画を更新している	・一人ひとりのお子様に合わせた支援を提供する為に、お子様にあった支援計画を作成していく必要がある
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・担当職員が連携会議に参加し、情報共有を行っている	・今後もお子様の様子を全職員が把握できるよう、会議の内容を職員間で共有する機会を設定していく必要がある
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・医療機関に見学に行くなども行っている	・関係機関と連携し、一人ひとりに合った支援を提供することを心掛けていく必要がある
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・関係連携を定期的に行っている	・こちらの思いや目的を適切に理解して頂くように、職員一同研鑽を重ねてまいります。
関係機関 や保 護者 との 連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・引継ぎシートを送付し、お子様の様子を共有している	・就学時には引継ぎシートを作成しているが、就学後に利用する放課後等サービス等へは引継ぎができていない場合もある為、引継ぎの方法等は検討していく必要がある
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・現在は実施できていない為イベントを企画運営していく必要がある	・現在他のお子様と関わる機会等は設けていないが、地域のイベント等に参加する機会がある場合は積極的に参加していく必要がある
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・日々保護者様とコミュニケーションを密に取っている	・今後も継続して、保護者様とお子様の発達の状況や課題について伝え合う必要がある
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・動画研修や外部講師を招いた講習会などを企画している	・継続的に保護者様のニーズに合わせて家族支援を実施していく必要がある
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約の際に細部まで説明している	・契約時に伝えた内容から変更などがある際は掲示するだけでなく、口頭でもしっかりと説明することを心掛けていく必要がある
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・アセスメントではお子様のニーズ保護者様のニーズをどちらも考慮している	・職員の思いではなく、お子様や保護者様の意向に沿った計画を作成することを徹底していく必要がある
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		・毎回時間を取って内容を説明し同意を得ている	・内容を読み上げるだけではなく、なぜその支援計画になったのかも具体的にわかりやすく説明することを継続して実施していく必要がある
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・定期的に相談支援を実施している	・ご希望に合わせて家族支援を実施しているが、お子様によっては頻度が少ない場合もある為、保護者様と相談しながら継続して実施していく必要がある
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	・きょうだいが参加可能なイベントや保護者会を多く企画している	・きょうだい児同士で交流する機会を設けることはできていない為、検討していく必要がある
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・相談を聞き取り、臨機応変な対応ができるようにしている	・今後も迅速かつ適切に対応していく為に、職員間での報連相を徹底していく必要がある

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・通信を毎月発行し、情報を発信している	・今後ブログ等を更新した際には教室内に案内文を掲示する等、多くの皆様にご覧いただけるような工夫を行ってまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報の取り扱いマニュアルにのっとりて営業している	・今後も個人情報の取り扱いに十分に留意していく必要がある
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・利用者に合わせた意思疎通の方法を検討して実施している	・今後も事業所全体で情報を共有し、配慮していく必要がある
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・外部向けのチラシを作成し相談に乗れる体制を整えている	・今後必要に応じて職員間で実施の検討をしてまいります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・訓練を定期的に実施している	・現在も訓練は行っているが、様々なケースを想定し、訓練を実施していく必要がある
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・BCPを策定し、定期的に訓練を行っている ・職員全体での理解を図れるよう情報共有をしている	・今後も非常時に備え、定期的に様々なケースの訓練を実施していく必要がある
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・契約時に状況を把握し、いつでも確認できるよう保管している	・咽嚥の判断や緊急対応が必要な場合に備え、情報は一元化するなどして対応してまいります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	5		・アレルギーについて適切な対応を把握し実施している	・該当のお子様がいいため、今後必要に応じて対応してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画を職員全体で共有している	・今後も継続してお子様の安全に留意して支援していく必要がある
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・家族への周知を掲示物などで行っている	・掲示等で周知しているが、わかりづらい部分もある為、定期的に知らせていく必要がある
非常時等の対応	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・毎月定期的にヒヤリハットを共有している	・都度ヒヤリハットを共有しているが、安心安全の為に小さなヒヤリハットも見逃さないように配慮する必要がある
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・定期的に虐待防止研修を受講している	・今後も研修の機会を設け、全職員で虐待防止の意識を高めていけるように努めていく必要がある
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・身体拘束についても事前に確認している	・今後も必要に応じて個別支援計画に記載していく必要がある